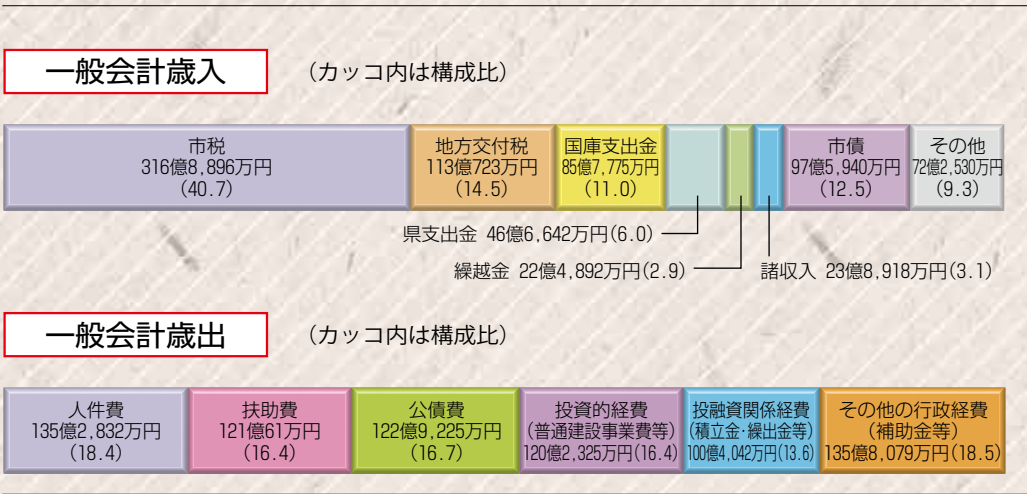


第1回臨時会 議決した案件

●決算案…2件 ●承認案…3件 ●その他…1件
(●全会一致可決…4件 ●賛成多数可決…2件)



Pick Up

一般会計
収入済額 778億6,316万円 (前年度比8%増)
支出済額 735億6,564万円 (前年度比5%増)

平成25年度決算を認定

- 平成25年度に実施した主なもの**
- 小中学校の耐震化 3億867万円
 - 消防救急無線のデジタル化 12億1,472万円
 - 寺家新駅周辺の整備 7億207万円
 - 西条駅の機能強化 8億1,972万円
 - 農業の担い手育成 1億1,418万円
 - 芸術文化センターの建設 25億405万円
 - 市民協働のまちづくり推進 4億3,308万円

- ◎ **決算特別委員会委員**
- 委員長 中曾 義孝
副委員長 山下 守
- 委員 重光 秋治 乗越 耕司
麻生 豊 新開 邦彦
宮川 誠子 中平 好昭
谷 晴美 鈴木 利宏
大江 弘康 石原 賢治

◎ **賛成討論 石原委員**

平成25年度事業の取り組みの内容や問題点が明らかになった。以降の事業運営に役立たせていられるものと期待する。本市の総合計画に掲げるまちづくりの考え方をもとに平成25年度の事業をされているものと考え、賛成する。

◎ **委員会での討論**

◎ **反対討論 谷委員**

寺西小学校の運動場増設や分離新設は、環境調査の結果を住民に知らせるべきで、住民が納得する提案が示されていない。安心・安全なまちづくりの観点から問題があり反対する。

Select.1

〈議案第148号〉

平成25年度水道事業会計利益の 処分及び決算の認定

水道事業損益は、収益総額が43億4,663万1千円、費用総額が39億1,747万7千円。4億2,915万4千円の純利益を計上し、建設改良積立金へ4億円を積み立て予定。また、資本的収支は、収入が4億6,102万4千円、支出が12億9,551万7千円となり、不足額は、過年度分損益勘定留保資金などで補填しています。

◎主な内容

上水道拡張工事

2億9,405万円

配水管設備工事

2億3,113万円

水道監視システム改良

2,044万円



給水車

◎委員会での討論

反対討論 谷委員

消費税増税により、水道使用料が住民の負担増となっている。他の自治体では、増税後も水道使用料を引き上げていないところもある。黒字決算でもあることから、地方の裁量で補填すべきであったと考え、反対する。

賛成討論 宮川委員

今後の計画的な管路更新、施設更新に備えて、建設改良積立金を着実に積み立てているなど、経営状態は非常に健全であると考え、賛成する。

Select.2

〈議案第153号〉

八本松小学校校舎 増改築工事(建築)の契約締結

八本松小学校校舎の増改築工事(建築)について、1回目の入札が不調に終わり、再度入札を実施した結果、落札業者が決定したため、請負契約を締結するものです。

◎契約の内容

- ①契約の方法 条件付一般競争入札
- ②契約金額 9億1,031万9,999円
- ③契約の相手方 三島・萩尾特定建設工事共同企業体
 - 代表者 福山市駅家町万能倉
三島産業株式会社
 - 構成員 東広島市八本松東
萩尾工業株式会社



八本松小学校校舎
完成イメージ

鉄筋コンクリート造りの3階建て、延べ面積約5,653平方メートル

本会議の討論

議案の審査経過 表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▶		議案第147号	議案第148号
会派名	議員名		
新風21	奥谷 求	○	○
	宮川 誠子	○	○
	高橋 典弘	○	○
	寺尾 孝治	議	議
	上田 廣	○	○
	中曾 義孝	○	○
	杉井 弘文	○	○
合志会	乗越 耕司	○	○
	新開 邦彦	○	○
	家森 建昭	○	○
	中平 好昭	○	○
	池田 隆興	○	○
	梶谷 信洋	○	○
威信会	麻生 豊	○	○
	杉原 邦男	○	○
	大江 弘康	○	○
	山下 守	○	○
	牧尾 良二	欠	欠
	渡邊 國彦	○	○
市民クラブ	西本 博之	○	○
	石原 賢治	○	○
	赤木 達男	○	○
公明党	加根 佳基	○	○
	竹川 秀明	○	○
	小川 宏子	○	○
五月会	平岡 毅	○	○
	坂本 一彦	○	○
	下村 昭治	○	○
東広島いろは会	重光 秋治	○	○
	早志 美男	○	○
日本共産党	谷 晴美	×	×
市民フォーラム	鈴木 利宏	○	○

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「除」は除外になります。

●議案第147号 (平成25年度一般会計決算)

反対 谷 晴美議員

燃料の高騰や原材料の高騰、担い手不足は深刻な状態になっており、大事業は凍結すべきだったと考える。年金の引き下げや生活保護費の引き下げにより、経済が後退し格差が広がる中、大事業を見直し、保育所待機児童の解消や子どもの医療費の無料化など、福祉の増進に回すべきだったと考え、反対する。

●議案第147号 (平成25年度一般会計決算)

賛成 高橋典弘議員

総合計画の事業は確実に実施されており、バランスのとれた財政運営が行われたものと評価し、賛成する。

●議案第148号 (平成25年度水道事業会計決算)

反対 谷 晴美議員

市民生活が苦しくなっている中、一般会計の剰余金を補填すべきだったと考え、反対する。

決算特別委員会

●議案第147号 (平成25年度一般会計決算)

Q 地球温暖化対策事業について、市内における電氣使用量が前年度と比べて減少したが、成果が出た要因は何か。

A 住宅用太陽光発電の普及に5万円／件の補助金を出しており、全国の平均普及率が5.6%のところ、本市では14%まで普及が進んだことや工

「家電の普及も要因として考えられる。」

Q 職員の時間外勤務が恒常化し病氣休暇取得者も増加している。これでは適正配置とは言えないのではないか。

A 今後は、時間外勤務の管理を厳格にし、必要に応じ臨時職員を配置するなど、流動配置で対応していく。職員の健康管理は非常に重要と認識をしており、時間外勤務の縮減に努める。